

別紙第一

波集作命甲第一〇號

波 集 團 命 令

廣 東 八 月 二 十 日 〇 〇 〇

一、集團ハ香港占領地區ニ於ケル治安警備ヲ強化セントス

二、香港占領地總督ハ從來ノ任務ヲ續行スルノ外八月二十日ヨリ香港占領地

區ノ警備ヲ強化スヘシ

三、香港防衛隊長ハ八月二十日十二時香港占領地總督ノ指揮下ニ入ルヘシ

0053

四、南支憲兵隊長ハ香九地區憲兵隊ヲ八月
二十日十二時香港口領地總督ノ指揮下
ニ入ラシムヘシ

五、細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム
波 集 團 長

下達法 印刷交付

配布區分 香督、香、南憲、二處支

0054

波集作命甲第一九號

波集團命令

八月二十一日 廣東

一、都築、白木、進藤、櫻井、安田、宮林、亀澤各
 部隊長ハ現ニ香港占領地總督管区内ニアル
 別紙部隊ヲ夫々八月二十四日零時現在地ニ
 於テ香港占領地總督ノ指揮下ニ入ラシムヘシ
 但シ本然ノ業務ニ關シテハ夫々別紙部隊ヲ區
 處スルコトヲ得

二、矢野部隊長ハ香港到着ノ時ヲ以テ香港占領

0055

一 地總督ノ指揮下ニ入ルヘシ

三 香港占領地總督ハ八月二十四日零時以降別
紙部隊ヲ併セ指揮スヘシ

但シ矢野部隊ヲ除ク各部隊ノ本然ノ業務ニ關
シテハ夫々原所屬部隊長ノ區處ヲ受ケシムヘシ

四 第一第三項本然ノ業務ノ範圍ニ關シテハ關係
部隊相互協定スヘシ

波 集 團 長

下 達 法

香督ニ尋旨電報後印刷交付

配 布 區 分

香督、香、郁、案、白、木、進、藤、櫻、井、安、田、宮、林、島、天、矢、野、各、部

0056

波集作命甲第一九號別紙

香港占領地總督ノ指揮下ニ入ル部隊

野戰電信第三中隊ノ主力

第二船舶輸送司令部南支分部ノ九龍出張所

第六十四碇泊場司令部ノ主力

船舶工兵第三十四聯隊第二中隊

船舶通信第四大隊第二中隊ノ一部

水上勤務第六十中隊ノ主力

第八野戰船舶廠

第五航空情報聯隊ノ一部

第四氣象聯隊第五中隊ノ部

第二十三軍野戰兵器廠ノ香港支廠

第二十三軍野戰貨物廠ノ香港支廠

第二十三軍野戰自動車廠ノ香港出張所

南支那防疫給水部ノ香港支部

第二百兵站病院

(以上各部隊ノ配屬部隊ヲ含ム)

0058

別紙第三

波集作命甲第一一號

波 集 團 命 令

八月二十日
香港

一、香港方面特別根據地隊司令官ハ香港

島ノ警備ニ任スヘシ

二、細部ニ關シテハ香港占領地總督ト協議ス

ハシ

波 集 團 長

一、達 法 受旨口達後印刷交付

配印部分 查根據、查督

0059

0060

別紙第四

波集作命甲第三五號

波 集 團 命 令

八月二十九日一四〇〇
廣 東

一、振武兵團ハ石龍(含シ)ヨリ深圳附近ニ亘ル廣

九鐵道ノ警備及寶安地區警備隊ノ任務ヲ香

港占領地總督部ヨリ繼承スルト共ニ集結地周

邊ノ治安確保ニ任スヘシ

波集作命甲第八二號ニ基ク擔任作戰地

域殘置兵力ハ之ヲ歩兵約一大隊基幹ト爲シ逐

次龍岡墟附近ニ收約スヘシ

0061

二 香港占領地總督ハ廣九鐵道一部ノ警備及寶
安地區警備隊ノ任務ヲ振武兵團ニ移讓スルト
共ニ香港防衛隊ヲシテ丙支隊ヲ概ネ現態執力ヲ
以テ振武兵團長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

三 振武兵團ト香港占領地總督部トノ警備擔任
地域ノ境界ヲ舊中國英國租借地境界ト定メ
同地境以北ノ香港防衛隊ノ舊擔任作戰地域
ヲ新ニ振武兵團ニ追加ス

四 警備移讓(繼承)ニ伴フ責任轉移ノ時期ハ振

0062

武兵團繼承部隊ノ配備完了ノ時トシ細部ハ相

互ニ協議スヘシ

波 集 團 長

下 達 法 受旨電報後印刷交付

配布區分 振武、香督、鳳、鐘、旭

0063

方亂第五

波集作命甲第三六號（波集作命甲第二六號）

波 集 團 命 令 八月二十九日ニシテ
廣 東

一、香港地區ノ聯合軍側接收責任者ハ英海

軍「ハーコート」少將ト決定ス

ニ予ハ支那派遣軍總司令官ノ命令ニ依リ波

集作命甲第二六號ニ拘ラス前項接收責任

者ニ對シ香港地區ニ於ケル局地停戦交渉ヲ責

施セントス

三、香港占領地總督部參謀長ハ香港交渉ニ

ク

0064

員長トナリ旧英領(租借地ヲ含ム)ニ於ケル對英
停戰交渉ニ任スヘシ

波集作命甲第二六號ニ基ク全般交渉委員
長ノ區處ヲ解ク

四 波集作命甲第二六號別紙停戰交渉委員ノ
編成ヲ左ノ如ク改ム

- 一 香港地區委員ハ之ヲ廢止シテ香港交渉委
員トシ委員トシテ島内海軍參謀ヲ追加ス
- 二 香港交渉委員長ハ前號ノ外狀況ニ依リ

0065

委員及隨員ヲ増減スルコトヲ得

波 集 團 長

下達法 香港、二遣支及總軍ニ特緊電後印刷交付

配布區分 鳳、振武、香、香督、泚、鐘道、直、肝、角和、雷支、

汕支、全般委員長、特別委員長、南憲、連絡部

總軍、二遣支

0066

別紙第六

總作命甲第四十五號

支那派遣軍命令

昭和二十年九月五日十二時
東京

一 予ハ 大命ニ基キ香港軍政地域ニ於ケル停
戰實施ヲ企圖ス

二 第二十三軍司令官ハ既ニ實施セルモノヲ除
ク外別冊ニ據リ香港軍政地域ニ於ケル停戰
ヲ實施スヘシ

三 細部ニ關シテハ所要ニ應ジ總參謀長トヨシテ指
示セラム

0067

下達法

要旨電報後印刷交付

支那派遣軍總司令官 岡村寧次

(9)

0068

總作命甲第四十五號ニ基ク總參謀長ニ指示
一命今第八項ニ據ル障礙物ノ除去ハ關係聯
合國指揮官ノ指示ニ應リ實施スルモノトス
二命今第十五項ニ據ル俘虜ハ現地ノ情勢ニ
即應スル如ク折衝ノ上引渡シ抑留者ハ之ニ
先タチ自發的ニ引渡スモノトシ俘虜 銘々票、
連名簿、死亡診斷書等ノ關係書類ハ軍ニ
於テ調製ノモノヲ交付スルモノトス

昭和二十年九月六日

支那派遣軍總參謀長 小林淺三郎

0069

01

0070

總作命甲第四十五號別冊

香港軍政地域停戰實施要領

昭和二十年九月五日
支那派遣軍總司令部

0071

(1)

0072

香港軍政地域停戰實施要領

第一要旨

一 派遣軍ハ 大命ニ基キ森嚴ナル軍紀ノ鞏固ナル團結ノ下萬苦ヲ耐忍シ整齊且堂々ト香港軍政地域ニ於ケル停戰ヲ實施シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉ラシコトヲ期ス

二 前項實施責任者ハ第二十三軍司令官トシ關係聯シ國指揮官ハ英海軍少將「ハーコート」トス

三 第二十三軍司令官ハ本要領實施ノ爲香港軍政地域内ニアル一切ノ陸軍部隊ハ部隊ヲ爲ササル人員及軍人ニアルサル日本臣民ヲモ含ムヲ指揮シ所在海軍指揮官ト密ニ協力シ陸海軍兩者ニ關聯アル事項ニ關シテハ海軍部隊ニ對シ所要ニ應シ事務統制ニ任スルモノトス

第二要領

0073

四 敵對行為ヲ直ニ終止ス

但シ、武装解除、兵器及裝備等ノ交付、監守、保管、處理、障礙物ノ除去、武装解除後ニ於ケル軍人軍属ノ復員、餉養、衛生、治安ノ確保、提供スルキ情報ノ収集、其ノ他本要領實施ノ爲ニ要トスル通信、連絡、航空輸送等敵對行為ニアラサル一切ノ行動ハ依然之ヲ續行シ得ル如ク努カムルモノトス

五 武装ヲ解除ス

但シ少クモ將兵ノ帶刀、帶劍等ハ之カ保持ニ努メ武装解除後ニ於ケル日本臣民及非武装軍人軍属ノ保護ニ關シ公正妥當ナル處置(乗船時近ノ自衛兵器ノ借用又ハ武装憲兵隊ノ存續等ニ関シ「バーコート」ニ稟議スルモノトス)現態勢力ノ変更ヲ中止ス

0074

七、兵器及裝備ヲ「ハーコート」ノ指定スル時機及場所ニ於テ現
狀ノ儘且安全良好ナル状態ニ於テ「ハーコート」又ハ其ノ指定
者ニ交付ス。但シ第四、第五項但書實施ノ爲ニ要ナル
モノハ所要期間交付セサルカ又ハ交付スルモノ之ヲ借用スル
ニ努ムルモノトス

八、別ニ示ス所ニ據リ陸上、海上及空中ノ行動ニ對スル障碍物
ヲ除去ス

九、左ノ諸件ノ毀損、焼却ヲ禁止シ現狀ノ儘且良好ナル狀

態ニ於テ確實員ニ之ヲ監守保管ス
能心ニ於テ確實員ニ之ヲ監守保管ス
而シテ該物件ノ爾後ノ處理ニ關シテハ別ニ示ス
ノ軍需品_等ニ據リ聯_合國側ニ交付スルモノヲ除ク

2. 陸上、海上及空中輸送施設、通信施設

3. 軍事施設(飛行場、對空防備、港灣基地、物資貯
藏所、常設及假設ノ陸上及沿岸防備施設、要塞其

ノ他ノ防備地域等)及之ニ附隨スル建造物

右ニ關スル設計並ニ圖面

4. 工場製造場、工作場、研究所、實驗所、試驗所、技術上ノ要目(以上ハ戰爭用具並ニ軍事機關又ハ準軍事機關カ現ニ利用又ハ使用セントスル他ノ資材及資産ヲ製造スル爲又ハ此等ノ製造若クハ使用ヲ容易ナラシムル爲計畫セラレ又ハ之ニ充當セラレタルモノ、範圍トス)

十一切ノ兵器、彈藥及戰爭用具ノ製造並ニ分配ヲ直ニ終止ス

十二聯合國軍ノ占領又ハ進駐ヲ援助ス

十三陸軍關係事項以外ノ事項ニ關シテモ從前ノ管掌範圍事項ハ之ヲ處理スルモノトス

0076

十三 細目ニ關シテハ所管ニ應シ「ハーコート」ニ稟議スルコトヲ得

十四 第二十三 軍司令官ハ前諸項實施ニ關シ所管ニ應シ其ノ權ヲ隸下指揮下所轄部隊長ニ委スルコトヲ得

右ノ場ハ「ハ」該指揮官ノ職官氏名及所在地ヲ報告スルト共「ハーコート」ニ通報スルモノトス

十五 俘虜及抑留者ノ處理ニ關シテハ別ニ示ス

十六 本要領實施ニ方リテハ大本營、帝國政府ノ聯合國最高司令官部宛申入諒解事項ヲ基礎トシ現地ノ實情ニ即應シ「ハーコート」ニ稟議シ司地處理ニ遺憾ナカラシ

ムルモノトス

又武装解除後ノ各部隊ハ特ニ必要トスルモノハ外爾後ノ自活復員等ヲ顧慮シ適宜集結スルニ努ムルモノトス

十七 本要領實施ニ方リ迅速的確ナル信賞必罰ニ遺憾ナカ

ラシムルモノトス

十八、本要領ノ實行ニ關シ逐次報告スルト共ニ一切ノ措置終

了セハ速カニ局地處理專報ヲ呈出スルモノトス

十九、從來ノ命令々指示中本要領ト矛盾スル事項アルトキ

ハ本要領ニ據リ實施スルモノトス

0078

別紙第七

波集作命甲第五一號

波 集 團 命 令

九月廿一日
廣 東

香港防衛隊長ハ本職ニ代リ別冊ニ依リ香
港軍政地域ニ於ケル停戦ヲ實施スヘシ

波 集 團 長

下達法 要旨電報後印刷交付

配布區分 香防、香督、

總、二遣支、

(15)

0079

波集作命申第五一號別冊

香港軍政地域停戰實施要領

第一 要 綱

一、集團ハ大命ニ基キ森林嚴ナル軍紀及鞏固ナル團
結ノ下萬苦ヲ耐忍シ整肅且堂々ト香港軍政
地域ニ於ケル停戰ヲ實施シ以テ 聖旨ニ副ヒ奉
ラシコトヲ期ス

二、前項實施責任者ハ香港防衛隊長トシテ關係
聯合國指揮官ハ英軍少將「ハーコート」トス

三、香港防衛隊長ハ本要領實施ノ爲香港軍政地
域内ニアル一切ノ陸軍部隊ハ部隊ヲ爲ササル人員
及軍人ニアラサル日本臣民ヲモミロムヲ指揮シ第二
遣支艦隊司令長官ト密ニ協同シ陸海軍兩者
ニ關聯アル事項ニ關シテハ海軍部隊ニ對シ所要ニ
應シ之カ統制ニ任スルモノトス

第二 要 領

四、對敵行爲ハ直チニ之ヲ終止ス

但シ武装解除、兵器及裝備ノ移管、監守保衛處

0081

理、障礙物ノ除去治安ノ確保並ニ提供スヘキ情報ノ
収集等ハ誠意ヲ以テ之カ實施ニカルト其ニ武装
解除後ニ於ケル軍人、軍属ノ節養、衛生並ニ生命
今、實施ノ爲必要トセル通信、連絡、航空輸送等
其ノ他敵對行爲ニアラサル一切ノ行動ハ依然續行
シ得ル如ク努マルモノトス

五、武装解除ハ成ルハク將兵ノ帶刀、帶劍等之カ保持
ニ努メ尚武装解除後ニ於ケル日本臣民及非武装
軍人、軍属ノ保護ニ關シ公正妥善當ナル處置道(乘

カ

0082

船時迄自衛兵器ノ借用又ハ武装憲兵ノ存續
等)ニ關シ「ハーコート」ニ稟議スルモノトス

六兵器及裝備ヲ「ハーコート」ノ指定スル時期及場所
ニ於テ現状ノ儘且安全良好ナル状態ニ於テ「ハー
コート」又ハ其ノ指定者ニ交付ス

但シ第四項但書實施ノ爲必要ナルモノハ所定期
間移管セサルカ又ハ移管スルモノ之ヲ借用スル如ク寫
ムルモノトス

七陸上、海上及空中ノ行動ニ對スル障礙物ハ關係

0083

聯合軍指揮官ノ指示ニ應シ之ヲ徐去ス

八、左記諸件ハ毀損燒却ヲ禁止シ現状ノ儘且良好ナル状態ニ於テ確實ニ之ヲ監守保管ス

九、軍需品(第六項ニ依リ聯合國側ニ交付スルモノヲ

除ク)

2. 陸上、海上及空中輸送施設、通信施設

3. 軍事施設(飛行場對空防備港灣基地、物資

貯藏所、常設及假設ノ陸上及沿岸防備施設
要塞其ノ他防備地域等)及之ニ附隨スル建造

0084

物右ニ關スル設計並ニ圖面

十工場製衣造場、工場、研究所、實驗所、技術上

ノ要目(「データ」)特許設計圖面、發明品(以上

ハ戰爭用具並ニ軍事機關又ハ準軍事機關カ

現ニ利用又ハ使用セントスル所要資材及資産ヲ

製衣造スル爲又ハ此等ノ製衣造者クハ使用ヲ容

易ナラシムル爲計畫セラレ、或ハ之ヲ充當セラレタルモ

ノ範圍トス

九一切ノ兵器、彈藥及戰爭用具ノ製衣造並ニ分配ヲ直

18

0085

ニ中止ス

十細目ニ關シテハ所要ニ應シ「ハーコート」ニ稟議スルモ
ノトス

十一命令及本指示ノ實施ニ方リ迅速的確ナル信賞
必罰ニ遺憾ナカラシムルモノトス

十二本命令及本指示ノ實行ニ關シ逐次集團長ニ
報告スルト其ニ切ノ措置了セハ速カニ同地
處理要報ヲ集團長ニ提出スルモノトス

十三集團命令及指示中本要領ト矛盾スル事

頂
アルトキハ本要願ニ據リ盲文ニスルモノトス

0087